

# 北川激特・水防災事業の効果について

平成28年台風16号により浸水被害が発生するも、河道掘削・宅地嵩上などの事業効果により家屋浸水被害が大幅に低減！！



霞堤からの流水により浸水  
霞堤からの流入による浸水は1日で解消！

西日本新聞 朝刊3面 平成28年9月21日



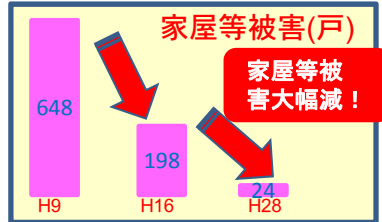
## ○主な浸水被害の実績表

年月日	要因	流量 (m <sup>3</sup> /s)	浸水面積 (ha)	家屋等被害 (戸)
H9.9	台風19号	約5,000	368	648
H16.10	台風23号	約4,900	350	198
H28.9	台風16号	約4,300	約340	24

※観測地点は、H9,H16：熊田観測所、H28：長井観測所。

激特事業 (H9~H16) の実施による効果

水防災事業 (H16~) による宅地嵩上効果



○過去の激特事業や水防災事業等により、平成9年台風19号洪水で648戸の家屋等浸水が、今回洪水では24戸と大きな効果があった【家屋等浸水：648戸→24戸（約96%減）】

○併せて、地区によっては霞堤方式により、堤防越水や破堤をまぬがれ、また洪水後の速やかな排水効果が確認できた。

